

## 具体的対応方針(岩手県立宮古病院の役割と機能)

所在地 宮古市崎鍬ヶ崎1-11-26

病床種別	区分	一般	療養	精神	結核	感染症	計
	許可	320			10	4	334
	稼働	229			5	4	238
	非稼働	91			5	0	96

1日平均 入院患者数	年度	一般	療養	精神	結核	感染症	計
	R5	190			0.7	2.9	193
	R4	192			0.3	4.4	197
	R3	208			0.6	2.8	211

病床 利用率	年度	一般	療養	精神	結核	感染症	計
	R5	71.5			14.4	71.6	70.4
	R4	72.3			5.8	109.7	71.6
	R3	78.5			12.5	70.3	77.1

平均在院 日数	年度	一般	療養	精神	結核	感染症	計
	R5	11.9			6.7	6.3	13.6
	R4	14.3			6.7	8.3	14.7
	R3	14.2			6.1	11.4	13.9

救急患者	年	救急車搬送件数	うち収容件数	年	手術件数	分娩件数
	R5	3,101		R5	1,342	253
	R4	2,829		R4	1,169	256
	R3	2,786		R3	1,159	289

病床機能 (稼働)		高度急性期	急性期	回復期	慢性期	その他	計
	R6報告		222	36			258
	R7見込		229	36			265

診療科目	内科、精神科、脳神経内科、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、小児科、外科、整形外科、形成外科、脳神経外科、心臓血管外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻いんこう科、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科
------	---

### 病院の役割・特色

- ・圏域の基幹病院としての機能を担い、二次救急医療や、がん医療、周産期医療等の高度・専門医療を提供。
- ・地域がん診療病院として、専門的ながん医療を提供。
- ・地域医療支援病院として、紹介患者に対する医療の提供、地域の医療従事者に対する研修を実施。
- ・地域周産期母子医療センターとして、周産期に係る比較的高度な医療を提供。
- ・救急告示病院として、圏域内を中心に救急患者を年間8,000人程度（うち救急車搬送3,000人程度）受入れ。
- ・地域災害拠点病院として、災害発生時の災害派遣医療チーム（DMAT）の派遣や被災地内の重症傷病者を受入れ。
- ・臨床研修病院として、臨床研修医を受入れ。
- ・専門医研修では、内科は基幹病院として、他は連携施設としてプログラムを実施。
- ・感染症指定医療機関としての役割を担う。

### 2025年を見据えた今後の方向性

- ・圏域の基幹病院としての機能を担い、二次救急医療や、がん治療等の高度・専門医療を担う。
- ・急性期から回復期を中心とした病院機能を担う。
- ・医師（研修医及び専攻医を含む）や医療技術者等の研修・養成支援を通じた人材育成を行う。
- ・地域災害拠点病院として、災害発生時の災害派遣医療チームの派遣や被災地内の重症傷病者の受入れを行う。
- ・地域医療支援病院として、紹介患者の積極的な受入れ、地域の医療従事者に対する研修の開催など、かかりつけ医等への支援、連携を強化する。
- ・医療・介護・福祉・行政との連携、協働により地域包括ケアシステムの一翼を担う。

## 具体的対応方針(宮古第一病院の役割と機能)

所在地 宮古市保久田8番37号

病床種別	区分	一般	療養	精神	結核	感染症	計
	許可		148				148
	稼働		148				148
	非稼働		0				0

1日平均 入院患者数	年度	一般	療養	精神	結核	感染症	計
	R5		145.3				
	R4		143.2				
	R3		144				144

病床 利用率	年度	一般	療養	精神	結核	感染症	計
	R5		98.1				-
	R4		96.7				-
	R3		97.2				-

平均在院 日数	年度	一般	療養	精神	結核	感染症	計
	R5		115.6				-
	R4		124.9				-
	R3		141				-

救急患者	年	救急車搬送件数	うち収容件数
	R5	0	
	R4	0	
	R3	0	

病床機能 (稼働)		高度急性期	急性期	回復期	慢性期	その他	計
	R6報告			78	70		
	R7見込			78	70		148

診療科目	内科、消化器内科、リハビリテーション科、眼科、歯科
------	---------------------------

### 病院の役割・特色

- ・圏域の回復期医療を担う病院として、回復期リハビリテーション病棟ではチーム医療による早期退院、早期社会復帰、在宅復帰を目指す。
- ・退院後の外来リハビリテーション及び維持期のリハビリ（訪問リハビリ）を提供し、ADLの維持・向上への役割。
- ・宮古圏域における地域リハビリテーション広域支援センターとしての役割。
- ・医療療養病棟では医療区分の高い患者に対する医療処置、在宅療養における家族の介護負担や看取りなどにも考慮し、生活を主体とした安全・安心の医療を提供する。

### 2025年を見据えた今後の方向性

- ・圏域の回復期医療を担う病院として、回復期リハビリテーション病棟での集中的なりハビリによる早期退院、早期社会復帰、在宅復帰を目指す。
- ・退院に向けて在宅支援者との連携を図る。
- ・退院後の外来リハビリ及び維持期のリハビリ（訪問リハビリ）を提供し、ADLの維持・向上。
- ・宮古圏域における地域リハビリテーション広域支援センターとしての活動。
- ・医療療養病棟の役割として、急性期治療後の患者の受け入れ及び誤嚥性肺炎等の要介護者を在宅、介護保険施設から受け入れる。

## 具体的対応方針(岩手県立山田病院の役割と機能)

所在地 下閉伊郡山田町飯岡1-21-1

病床種別	区分	一般	療養	精神	結核	感染症	計
	許可	50					50
	稼働	50					50
	非稼働	0					0

1日平均 入院患者数	年度	一般	療養	精神	結核	感染症	計
	R5						
	R4						
	R3	17.1					

病床 利用率	年度	一般	療養	精神	結核	感染症	計
	R5						-
	R4						-
	R3	34.1					-

平均在院 日数	年度	一般	療養	精神	結核	感染症	計
	R5						-
	R4						-
	R3	17.2					-

救急患者	年	救急車搬送件数
	R5	
	R4	
	R3	37

病床機能 (稼働)		高度急性期	急性期	回復期	慢性期	その他	計
	R6報告			50			50
	R7見込			50			50

診療科目	内科、小児科、外科、整形外科、眼科、リハビリテーション科
------	------------------------------

### 病院の役割・特色

- ・圏域の地域病院として、基幹病院である宮古病院と連携・協力しながら入院・外来医療を提供。
- ・山田町内を中心に訪問診療及び訪問看護を実施。
- ・診療時間内の1次救急の受入れのほか、睡眠時無呼吸症候群検査入院、メディカルショートステイ入院、糖尿病の教育入院などの生活習慣病への対応。
- ・山田町と協力して、町民の健康づくり教育講座（出前健康講座、糖尿病重症化・合併症予防教室等）を開催。
- ・地域内外の医療機関等と連携強化し、機能分化を推進。
- ・臨床研修協力施設として、初期研修医の受入れを実施。
- ・宮古高等看護学院の老年看護実習学生を受入れ。

### 2025年を見据えた今後の方向性

- ・圏域の地域病院として、基幹病院である宮古病院と連携・協力しながら地域医療機能を担う。
- ・医療・介護・福祉・行政等との協働や山田町との連携強化により、地域包括ケアシステムの一翼を担う。
- ・回復期を中心とした病床機能を担う。
- ・初期研修医や看護実習学生等を受け入れるなど、人材の確保や育成に取り組む。

## 具体的対応方針(済生会岩泉病院の役割と機能)

所在地 岩泉町岩泉字中家19-1

病床種別	区分	一般	療養	精神	結核	感染症	計
	許可	92					92
	稼働	80					80
	非稼働	12					12

1日平均 入院患者数	年度	一般	療養	精神	結核	感染症	計
	R5	48.7					48.7
	R4	53.3					53.3
	R3	61.8					61.8

病床 利用率	年度	一般	療養	精神	結核	感染症	計
	R5	59.5					59.5
	R4	65.2					65.2
	R3	77.3					77.3

平均在院 日数	年度	一般	療養	精神	結核	感染症	計
	R5	42.4					42.4
	R4	46.1					46.1
	R3	40.8					40.8

救急患者	年	救急車搬送件数	うち収容件数
	R5	152	152
	R4	130	130
	R3	168	168

病床機能 (稼働)		高度急性期	急性期	回復期	慢性期	その他	計
	R6報告			70			70
	R7見込			60			60

診療科目 内科、小児科、外科、整形外科、脳神経外科、眼科

### 病院の役割・特色

- ・済生会の創立の理念である「施薬救療」と当院の院是である「忘己利他」の精神のもとに、地域住民の医療、健康、福祉、そして生活を支えていく総合的病院施設として運営しています。
- ・社会福祉法人として無料定額診療や生活者困窮者支援事業を積極的に推進しています。
- ・地域における唯一の公的医療機関として、一般診療、人工透析、24時間の救急対応、更には訪問診療や訪問看護などの在宅医療にも幅広く対応しています。
- ・岩泉町が実施する各種検診や予防接種などの保健予防事業をはじめ、町内の学校等の学校医や事業所の産業医など、地域住民の健康管理に貢献しています。

### 2025年を見据えた今後の方向性

- ・岩泉地域における唯一の医療機関として、急性期から慢性期の患者を受入れ、必要に応じて専門また高度医療機関に紹介する役割を維持していきます。
- ・宮古保健医療圏における後方病院として、回復期患者の受入れを推進していきます。
- ・訪問診療や訪問看護を継続し、在宅医療の充実を図ります。
- ・地域の人口減少に伴い、患者数の減少や医療ニーズの変化が予想されることから、病院の機能や診療体制の見直しを図っていきます。

## 具体的対応方針(後藤泌尿器科皮膚科医院の役割と機能)

所在地: 後藤泌尿器科皮膚科医院

### 1 診療科目

診療科目	泌尿器科、皮膚科、外科、性病科、放射線診断科
------	------------------------

### 2 病床機能

病床機能 (稼働)		高度急性期	急性期	回復期	慢性期	その他	合計
	R6報告		19				19
	R7見込		19				19

### 3 その他(他の医療機関との機能連携等)

・泌尿器科、皮膚科、外科、性病科、放射線診断科の検査及び治療を専門的に行っており、岩手県立宮古病院(紹介先医療機関)と連携をしている。  
・現在、一般病床13床、療養病床6床であるが、令和6年4月1日より療養病床を一般病床19床に変更しました。

## 具体的対応方針(さかもと眼科クリニックの役割と機能)

所在地: さかもと眼科クリニック

## 1 診療科目

診療科目	眼科
------	----

## 2 病床機能

病床機能 (稼働)		高度急性期	急性期	回復期	慢性期	その他	合計
	R6報告		12				12
	R7見込		12				12

## 3 その他(他の医療機関との機能連携等)

・眼科の検査及び治療を専門的に行っており、岩手医科大学病院や岩手県立宮古病院（紹介先医療機関）と連携をしている。